

TADESKAの歩みと今後

ナカガワ・マルガリータ

第62回関西スペイン語教授法ワークショップ[®]

2012年9月8日



これまでのTADESKAの歩み

第1回関西スペイン語教授法ワークショップ[®]

2006年4月15日

- 会の趣旨:

「参加者が対等な立場で授業実践や教授法についての情報交換を行う。」



○ 活動内容について

- (1)月に1回、基本的には毎月第2土曜日に開催する。毎回決められたテーマについて各人の経験・疑問・考えなどを伝え合う。
- (2)ワークショップの構成:2部構成にしてはどうか(前半90分テーマに関する情報交換、後半30分希望者による文献講読)
- (3)各会ごとに担当者がテーマに関するmini-charlaを行い、その後グループで意見など交換・グループ発表を行う。
- (4)テーマについて:およそ3回ごとにテーマを変えながら進める。

- 提案されたテーマ:

- ・ ノンバーバルコミュニケーション
- ・ 動詞活用
- ・ どこまで・どのように教えるか
- ・ ネイティブとナンネイティブの連携
- ・ 評価・成績
- ・ 文法用語
- ・ 視聴覚教材の利用
- ・ 作文・会話などにおける誤りをどうするか
- ・ 教材・辞書
- ・ 中級授業の行い方



これまで扱われているテーマ

	日付	テーマ・タイトル		担当者
第2回	2006年5月13日	モチベーション (1)	「初回授業の進め方」	土井 裕文
第3回	2006年6月10日	モチベーション (2)	「学生のモチベーションと高めたと思われる授業実践」	岡本 淳子
第4回	2006年7月8日	モチベーション (3)	"Relación entre las calificaciones y la motivación de los estudiantes"	中川マルガリータ
第5回	2006年9月11日	クラス内での学力差 (1)	(1)「どこまで、どのように教えるか？～学力差と地域差」	安藤 幸治
第6回	2006年10月14 日	クラス内での学力差 (2)	「学力差への取り組み～大学側の対応」	村上 陽子
第7回	2006年11月11 日	教材 (1) 教科書の使用例・感想など	教科書の使用例および感想	溝田のぞみ

	日付	テーマ・タイトル		担当者
第8回	2006年12月9日	教材 (2) 理想の教科書	"Mi experiencia publicando un libro de texto"	Analía Vitale
第9回	2007年2月10日	教材 (3) 補助教材	自作の補助教材	鈴木 真由美
第10回	2007年3月13日	特別教室(LL教室,CALL教室など)での機材を用いた授業実践	(1)PC教室での授業実践1 (2)PC教室での授業実践2 (3)マルチメディア教室での授業実践 (4)マルチメディア・PC教室での授業実践 (5)CALL教室での授業実践1 (6)CALL教室での授業実践2	立岩 礼子、Arturo Escandón、藤井 希伊、小川 雅美、柿原 武史、村上 陽子
第11回	2007年4月14日	メソッド(1)	文法訳読法について	江澤 照美
第12回	2007年5月12日	メソッド(2)	パターン練習を中心に	小川 雅美
第13回	2007年6月9日	メソッド(3)	コミュニケーションに根ざした教授法 ¿Método comunicativo?	Claudio Vásquez
第14回	2007年7月14日	メソッド(4)	最新の教授法理論と教授法の総括 “Entre la gramática y la comunicación”	Arturo Escandon
第15回	2007年9月8日	文法事項の教え方(1) 時制	「日本語母語話者のための点過去と線過去の教え方をめぐって」	山村ひろみ
第16回	2007年10月13日		講読会:講読会:Ellis, Rod (1999). Second Language Acquisition: Oxford. Oxford University Press 第1,2章	

	日付	テーマ・タイトル		担当者
第17回	2007年11月3日	クラスマネージメント	「学生の忘れ物と授業中の私語・居眠りへの対処について」	小山朋子
第18回	2007年12月1日		講読会: Ellis, Rod (1999). Second Language Acquisition: Oxford. Oxford University Press 第2,3,4章	
第19回	2008年2月2日		「冠詞の教え方 問題点の把握を中心に」	中川マルガリータ
第20回	2008年3月1日		講読会: Ellis, Rod (1999). Second Language Acquisition: Oxford. Oxford University Press 第4,5章	
第21回	2008年4月5日	文法事項の教え方	「冠詞 教材作成の試み」	
第22回	2008年5月10日		講読会: Ellis, Rod (1999). Second Language Acquisition: Oxford. Oxford University Press 第5,6章	
第23回	2008年6月7日	教師の専門性を授業にどう活かすか (1)	「フラメンコ」「映像分析」	岡本淳子
第23回	2008年6月7日	教師の専門性を授業にどう活かすか (1)	「授業内に『文化紹介コーナー』を設ける試み」	平田和重
第24回	2008年7月6日	日本の大学におけるスペイン語の教科書のあり方(特別企画)	「アクションを通して学ぶースピーキング、ライティングにおけるコミュニケーション能力の構築についての包括的な提案」	Carlos Barroso

	日付	テーマ・タイトル		担当者
第25回	2008年10月4日	教師の専門性を授業にどう活かすか (2)	「第二外国語の授業(講読)におけるスペイン史紹介の一例」	田辺加恵
第25回	2008年10月4日	教師の専門性を授業にどう活かすか (2)	「日本語との対照一例えば『スペイン語は動詞の活用が多すぎる』という学習者に対してー」	土井裕文
第26回	2008年11月1日		講読会: Ellis, Rod (1999). Second Language Acquisition: Oxford. Oxford University Press 第6章	
第27回	2008年12月6日	教師の専門性を授業にどう活かすか (3)	「第外国語の授業における歴史文化コーナーについての学生へのアンケート結果」	小山 朋子
第27回	2008年12月6日	教師の専門性を授業にどう活かすか (3)	「歌い、踊る“スペイン 誤学”と“スペイン 娯学”」	安保 寛尚
第28回	2009年2月7日		講読会: Ellis, Rod (1999). Second Language Acquisition: Oxford. Oxford University Press 第7章	
第29回	2009年3月7日	教師の専門性を授業にどう活かすか (4)	『「スペイン語ってめっちゃ難しい」を相対化する』	土屋 亮
第29回	2009年3月7日	教師の専門性を授業にどう活かすか (4)	「スペイン語圏の言語の多様性を実感してもらう授業例 汎用性の高いマルチメディア機器の紹介を兼ねて」	柿原 武史
第30回	2009年4月4日		あなたの意見では接続法をどの段階で教える?	土井 裕文
第31回	2009年5月2日		中上級にふさわしいタスクとは	土屋亮

	日付	テーマ・タイトル		担当者
第32回	2009年6月6日		授業において学生が感じる心理的負荷	小山 朋子
第33回	2009年7月4日		CALLを利用せずに『コミュニケーション型』授業をめざすには	田辺加恵
第34回	2009年9月5日		第二外国語としてのスペイン語教育で効果的な小テストと課題について	安保寛尚
第35回	2009年10月3日		初習学習者への発音、音節、強勢の指導法について	鈴木 真由美
第36回	2009年11月7日		講読の授業を単なる文法訳読の授業にしないための工夫	岡本淳子
第37回	2009年12月5日		留学生へのスペイン語教育について	柿原 武史
第38回	2010年2月18日	関西スペイン語教師の集い	「授業と試験におけるtuとustedの使い分け」	小山朋子
第38回	2010年2月18日	関西スペイン語教師の集い	「大学が実施している授業アンケートについて」	鈴木真由美

	日付	テーマ・タイトル		担当者
第38回	2010年2月18日	関西スペイン語教師の集い	「意味理解への語用論的アプローチ」	小川雅美
第38回	2010年2月18日	関西スペイン語教師の集い	-カンテ・フラメンコ"Aquellos duros antiguos"	岡本淳子
第38回	2010年2月18日	関西スペイン語教師の集い	「スペイン語自主学習用ソフトを試用する」	土井裕文
第39回	2010年4月3日		初級第2外国語スペイン語授業における練習問題について	村上陽子
第40回	2010年5月8日		初習者のより効果的なスペイン語学習のために 教師としてどのような工夫やアドバイスができるか	溝田のぞみ
第41回	2010年6月5日		Plan Curricular del Instituto Cervantes(PCIC)を利用したA1-A2 レベルのコースデザインの試み	江澤 照美
第42回	2010年7月3日		スペイン語教師としての私達の実践についてふり返る	小川雅美
第43回	2010年9月11日		スペイン語のSER、ESTAR、HAYの学習について	岡見友里江

	日付	テーマ・タイトル		担当者
第44回	2010年10月2日		スペイン語の授業における試験の作成について	Margarita Nakagawa
第45回	2010年11月6日		冠詞の機能を習得し、使用できるようになるために必要な(初級の段階での)説明・用例・使用経験	岡あゆみ
第46回	2010年12月4日		初級スペイン語クラスにおいて接続法をどう扱うか	三宅陽子
第47回	2011年2月6日	関西スペイン語教師の集い	「日本のELE教育における評価」	江澤 照美
第47回	2011年2月6日	関西スペイン語教師の集い	「日本の大学で履修する外国語としてのスペイン語能力の何をいか」	長瀬 由美
第47回	2011年2月6日	関西スペイン語教師の集い	に評価するか」「テスト作成と実施について」	村上 陽子
第47回	2011年2月6日	関西スペイン語教師の集い	「逃亡奴隸の狂詩曲」(朗読とギター演奏)	安保寛尚
第47回	2011年2月6日	関西スペイン語教師の集い	「練習問題集をデザインする」	平田和重

	日付	テーマ・タイトル		担当者
第48回	2011年3月5日	モチベーション	第2外国語授業における学生の学習意欲、その向上と維持 ～授業運営の観点から～	鈴木真由美
第49回	2011年4月9日		GIDEシンポジウムの報告「高校の授業について」	各務恭子
第49回	2011年4月9日		モチベーション－教材の観点から	小川雅美
第50回	2011年5月7日		モチベーション - 新しいツールの観点から	Enrique Javier Millanes Diez
第51回	2011年6月11日		エラーを扱いつつ、いかに学生のモチベーションを維持するか	Analia Vitale
第52回	2011年7月9日		教室でスペイン語を媒介言語として使用することはモチベーションを上げるか？	柿原武史
第53回	2011年10月1日	『スペイン語新文法(Nueva gramatica de la lengua espanola)』	情報機能	川口正通
第54回	2011年11月5日	『スペイン語新文法(Nueva gramatica de la lengua espanola)』	El verbo (V). Las formas no personales: el gerundio	岡本淳子

	日付	テーマ・タイトル		担当者
第55回	2011年12月3日	『スペイン語新文法(Nueva gramatica de la lengua espanola)』	「Prólogo」妙訳《教養としてのスペイン文法史	土屋 亮
第56回	2012年2月19日	関西スペイン語教師の集い	「はじめに『新文法』の何が新しいのか」	小川 雅美
第56回	2012年2月19日	関西スペイン語教師の集い	「名詞の語尾 名詞の語尾 名詞の語尾 — -eで終わる場合 —」	土井 裕文
第56回	2012年2月19日	関西スペイン語教師の集い	「歌って学べるスペイン語」Nino Bravo "Un beso y una flor"、Andrea Bocelli"Jurame"などを歌い、授業で使える歌、使い方などを紹介した 「形容詞の位置とその解釈」	柿原 武史 土屋 亮
第56回	2012年2月19日	関西スペイン語教師の集い	「名詞句に関する知識」 ・正直言って、尋ねられると困るテーマ ・教科書や進度の関係などから、教えたり教えなかったりする項目があると思われるが、何を教えたら「名詞句」を教えたと言えるのか	岡見 友里江
第57回	2012年3月3日		色弱(Daltonismo)の学習者はどのように見えているか	土井 裕文
第58回	2012年4月7日		スペイン語を教える教師のモチベーション	村上陽子
第59回	2012年5月12日		20分で一つの文法事項を教える提案	柿原武史

	日付	テーマ・タイトル		担当者
第60回	2012年6月2 日		品詞体系と語学教育	岡見 友里江
第61回	2012年7月7 日		ラーニング・ポートフォリオの活用	江澤 照美



アンケート回答



- 現在アドレスブックに登録されているメンバー:75名
 - 日本語母語話者:57名
 - スペイン語母語話者:18名
- 回答者数
 - 日本語でのアンケート: 33
 - スペイン語でのアンケート:8

2. ¿QUÉ PIENSA USTED SOBRE LAS ACTIVIDADES Y LA ADMINISTRACIÓN DE TADESKA? CUALQUIER COMENTARIO SERÁ BIENVENIDO.



- Cualquier actividad encaminada a compartir experiencias, información y metodología sobre la enseñanza del español a estudiantes japoneses siempre será positiva.
Además, tiene un buen ambiente que anima a los participantes.
Sobre la administración no puedo opinar mucho ya que no la conozco, pero la impresión es que es excelente.



- Considero que esta organización posee un alto nivel, tanto en los temas que se en como en el profesorado asistente a sus reuniones.

En ella se tratan los asuntos y temas reales relacionados con la enseñanza del español. En ningún momento se olvida cuál es el objetivo principal: mejorar día a día en nuestra labor docente.

Por otra parte hay que destacar que a ella asisten profesores que se dedican a diferente tipo de alumnos. Siempre es muy enriquecedor como nativo conocer la realidad de la enseñanza en Japón pues solo así nuestra labor será productiva.

Estoy muy orgullosa de haber participado en las reuniones.



- Las presentaciones a las que he asistido me han parecido interesantes e instructivas. Siempre se ha producido un debate e intercambio de ideas muy enriquecedor.

En cuanto, a la administración de TADESKA me parece elogiable el trabajo, el entusiasmo y la buena organización por parte de lo/as responsables.



- Creo que es un excelente lugar para profesores de español nativos del japonés para hablar sobre su experiencia en el aula.
Con el tiempo los temas así como la forma de abordarlos han cambiado y han favorecido el intercambio entre los profes.

- Como sólo he asistido una vez, desconozco los detalles de la administración y organización.
Espero poder asistir a muchas más reuniones en adelante.
Eso sí. Me ayudaría poder tener materiales (en español oral o escrito) durante las presentaciones que sean en japonés, y que las preguntas se traduzcan al español en el momento (y al japonés si son en español y fuera necesario) para maximizar la participación y comprensión de todos.



- Solo he participado dos veces. Creo que necesito participar más para poder opinar.



- Considero que son muy positivas, tanto desde el punto de vista academico/profesional, como desde la perspectiva humana.

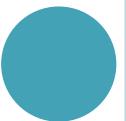


- Aunque no he participado ninguna vez tengo que felicitaros por la variedad de temas que tratáis y sobre todo por la regularidad con la que lleváis a cabo vuestras reuniones.

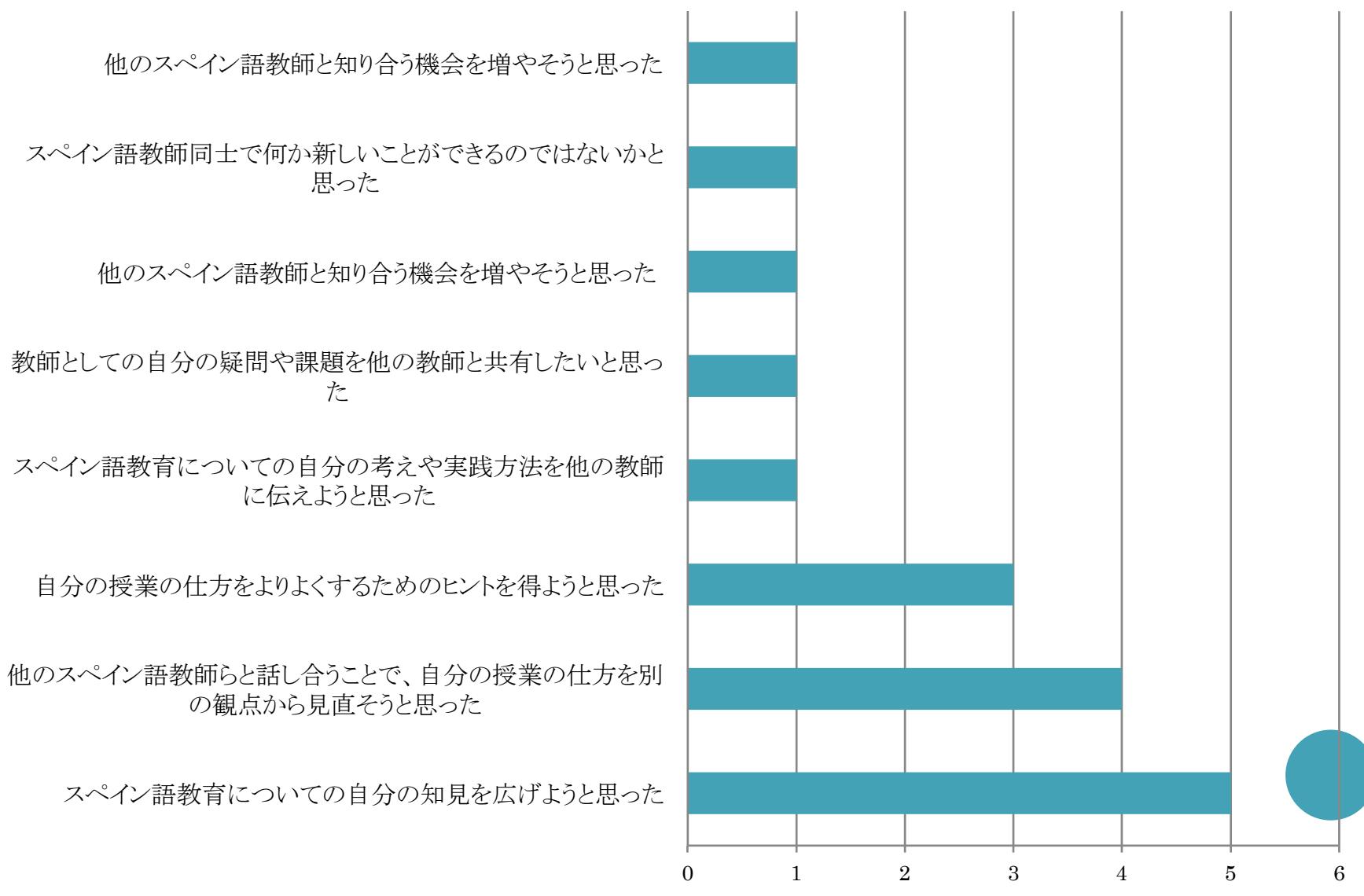
Enhorabuena y seguid así; espero poder participar en un futuro no muy lejano pero de todas maneras os seguiré como hasta ahora a través de vuestros correos.



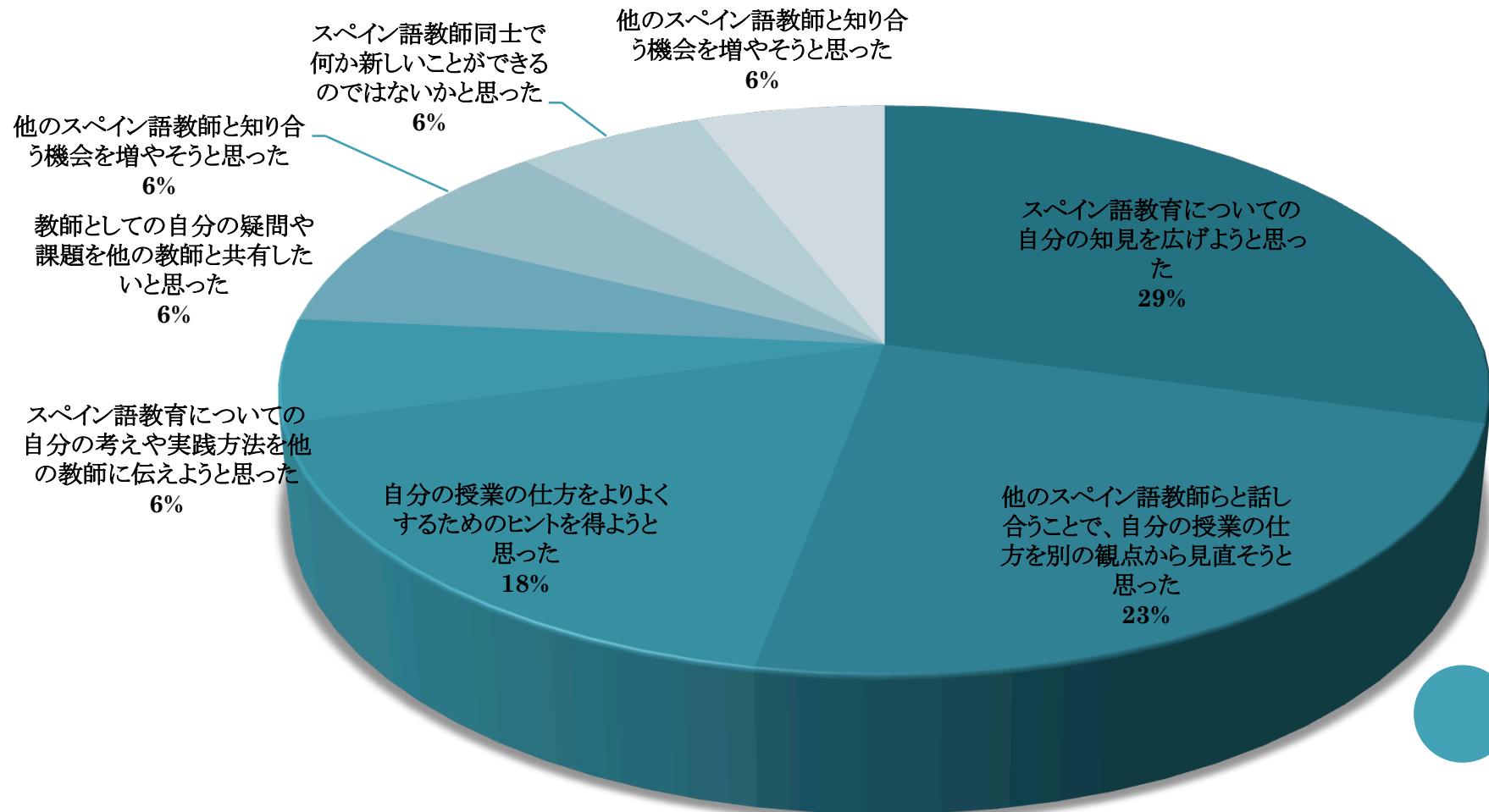
2. どのような理由・目的でTADESKAの集まりに
参加しようと思いましたか？



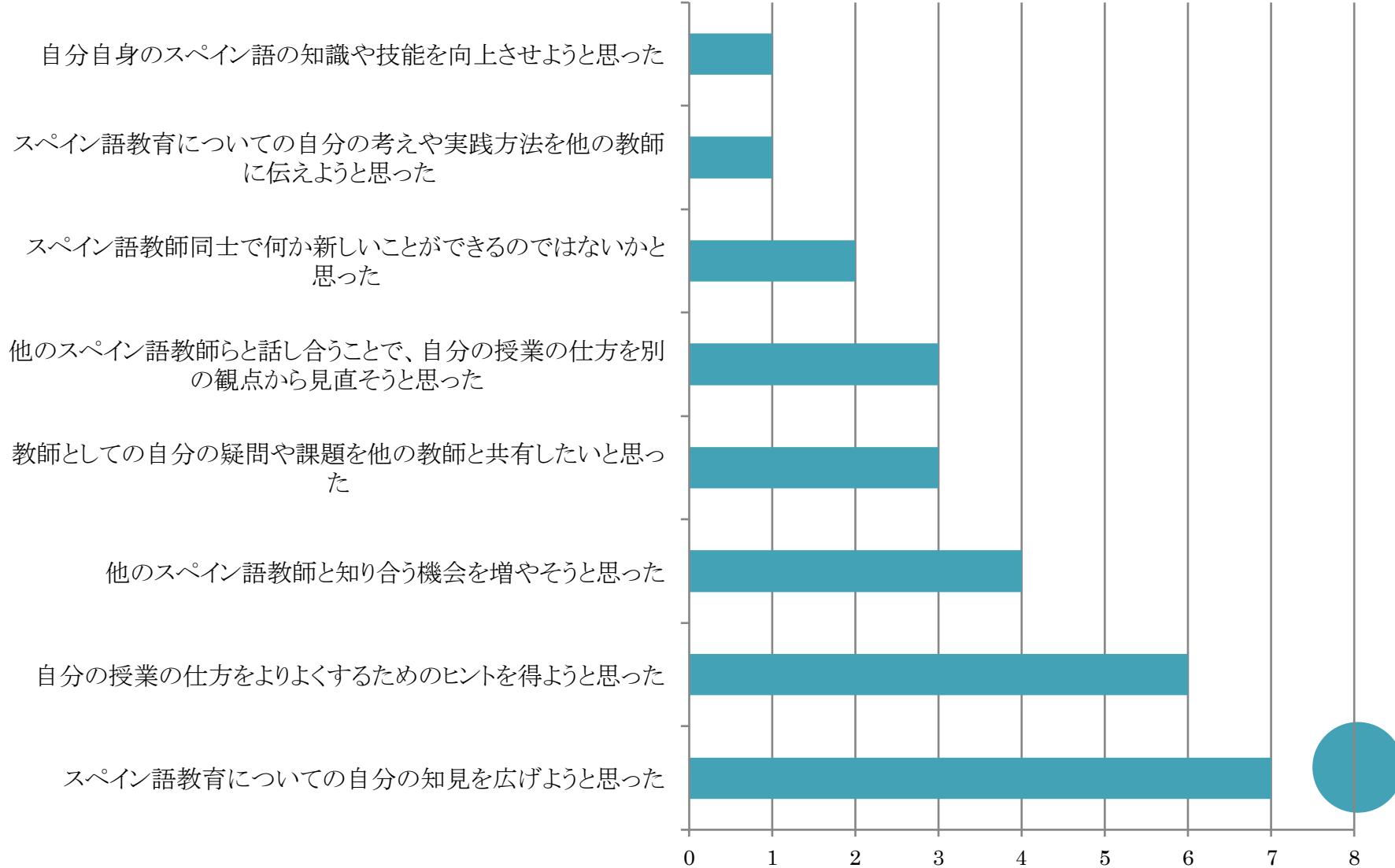
「1～2回程度出席したことがある」メンバーの回答



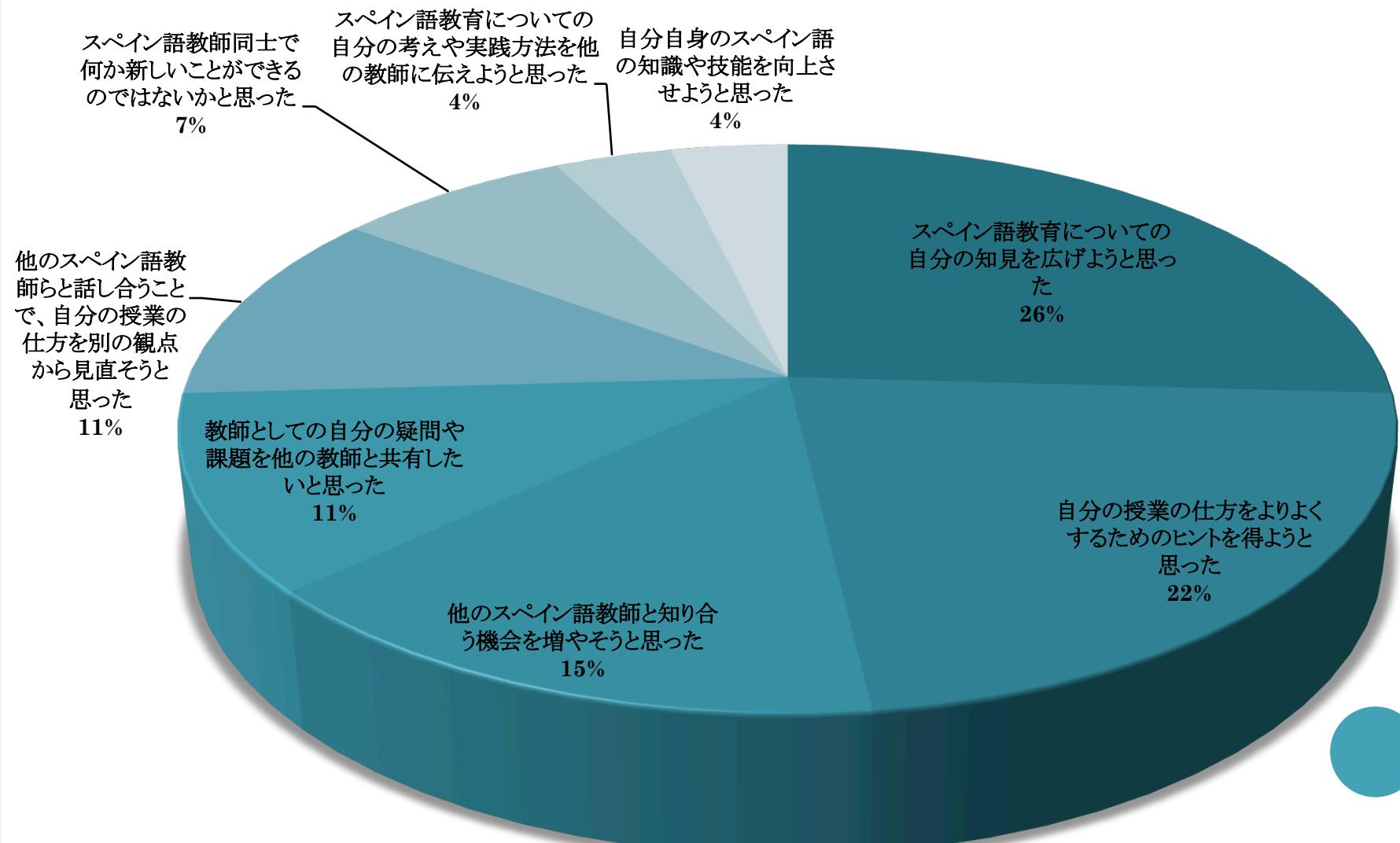
「1～2回程度出席したことがある」メンバーの回答



「数回出席したことがある」メンバーの回答



「数回出席したことがある」メンバーの回答



「時々出席している」メンバーの回答

プラスのこと、新しいことは何も望まないで、他の人がどんなこと
で悩んでいたりするのかを知りたくて。

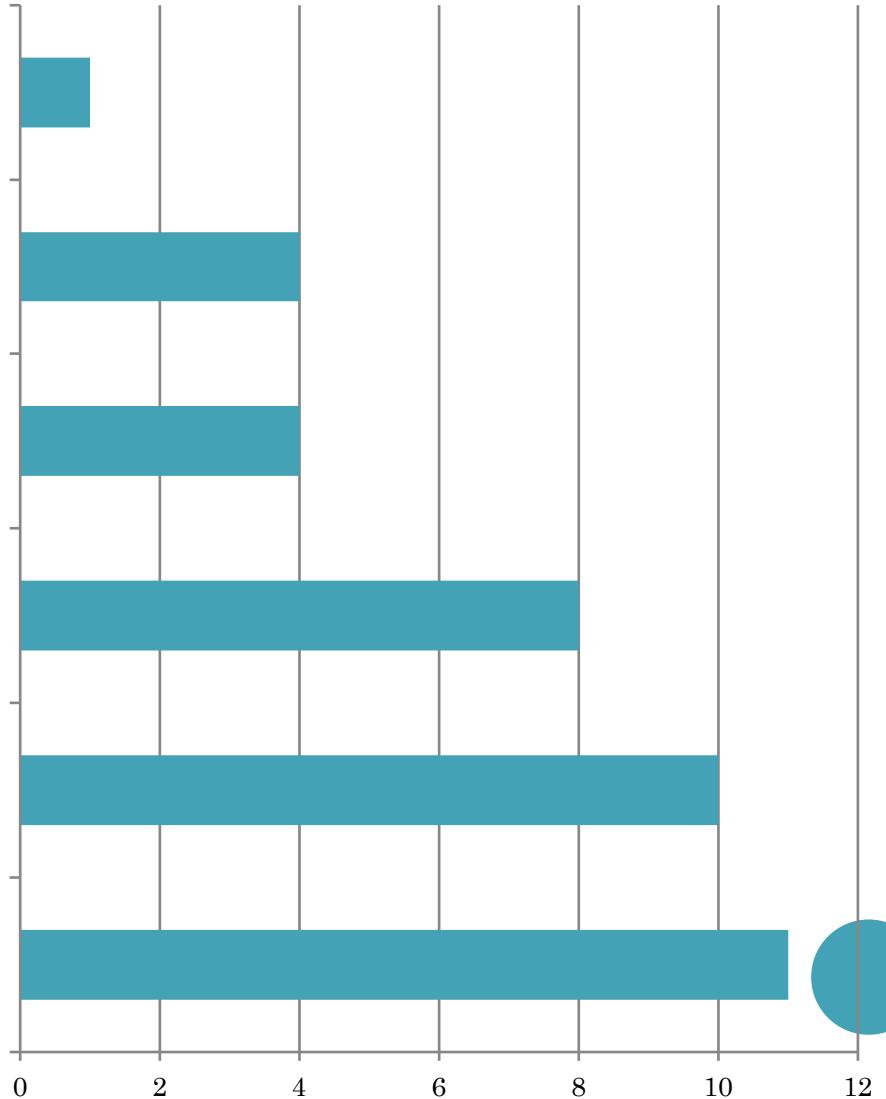
スペイン語教育についての自分の考え方や実践方法を他の教師
に伝えようと思った

スペイン語教師同士で何か新しいことができるのではないかと
思った

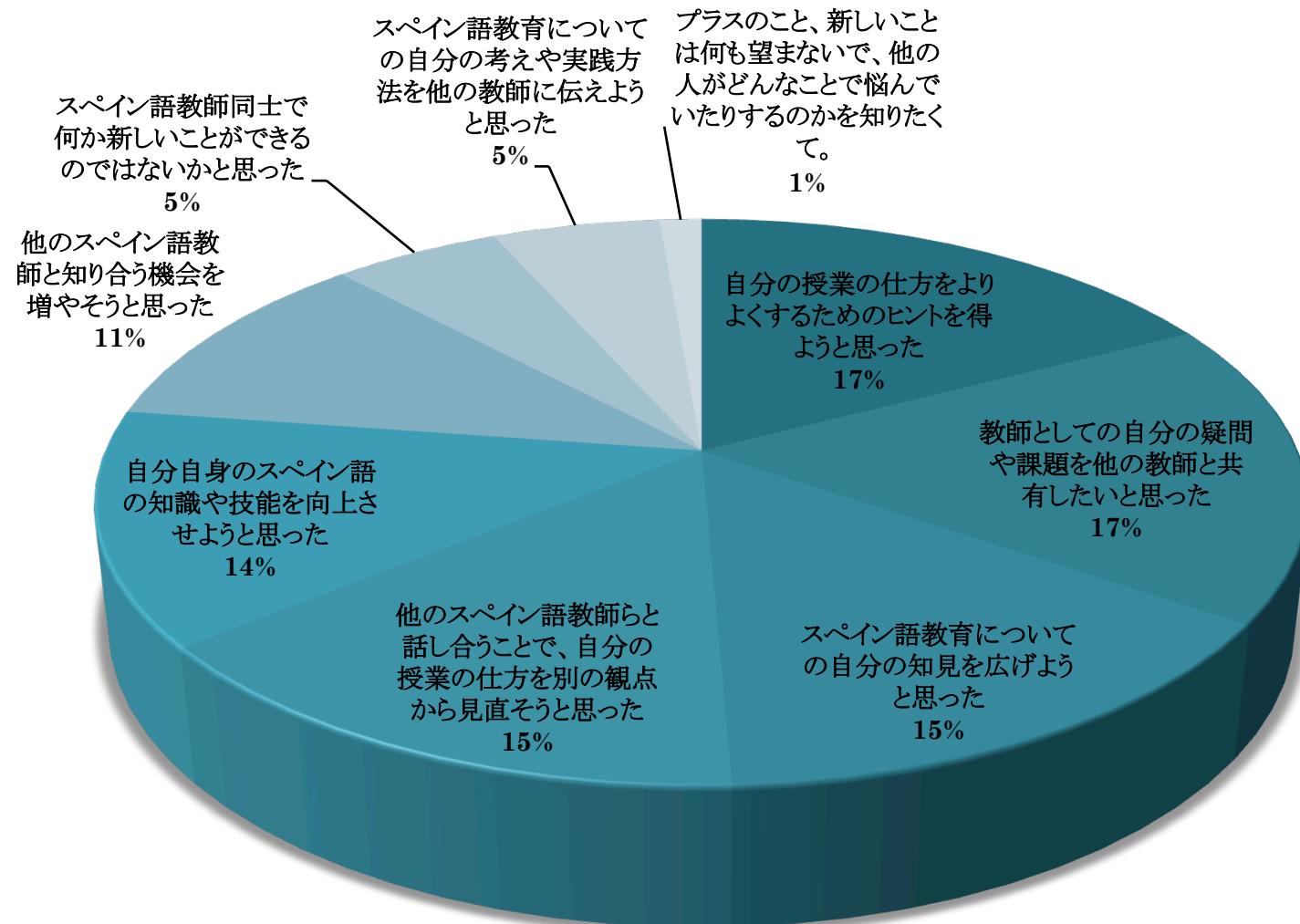
他のスペイン語教師と知り合う機会を増やそうと思った

自己自身のスペイン語の知識や技能を向上させようと思った

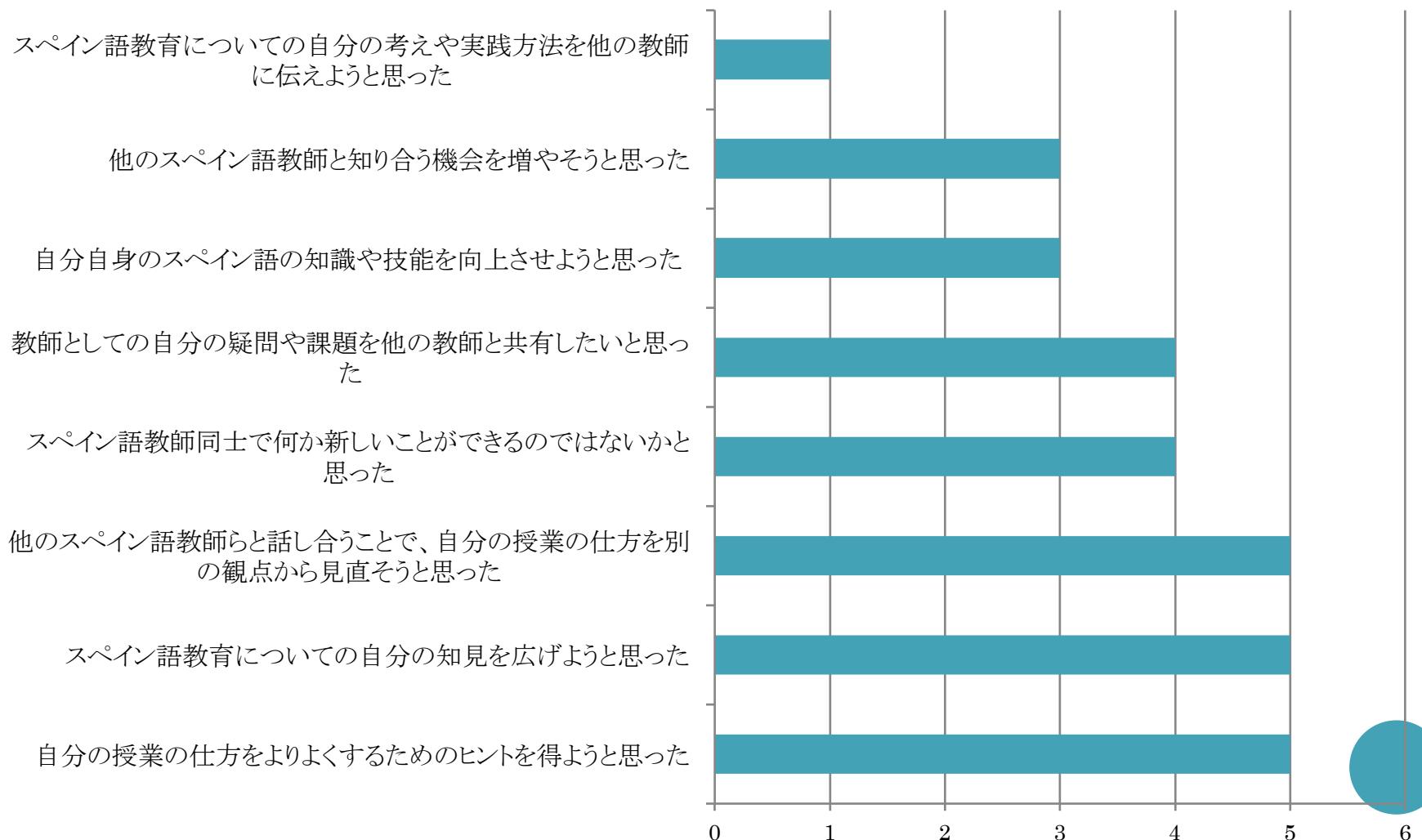
他のスペイン語教師らと話し合うことで、自分の授業の仕方を別
の観点から見直そうと思った



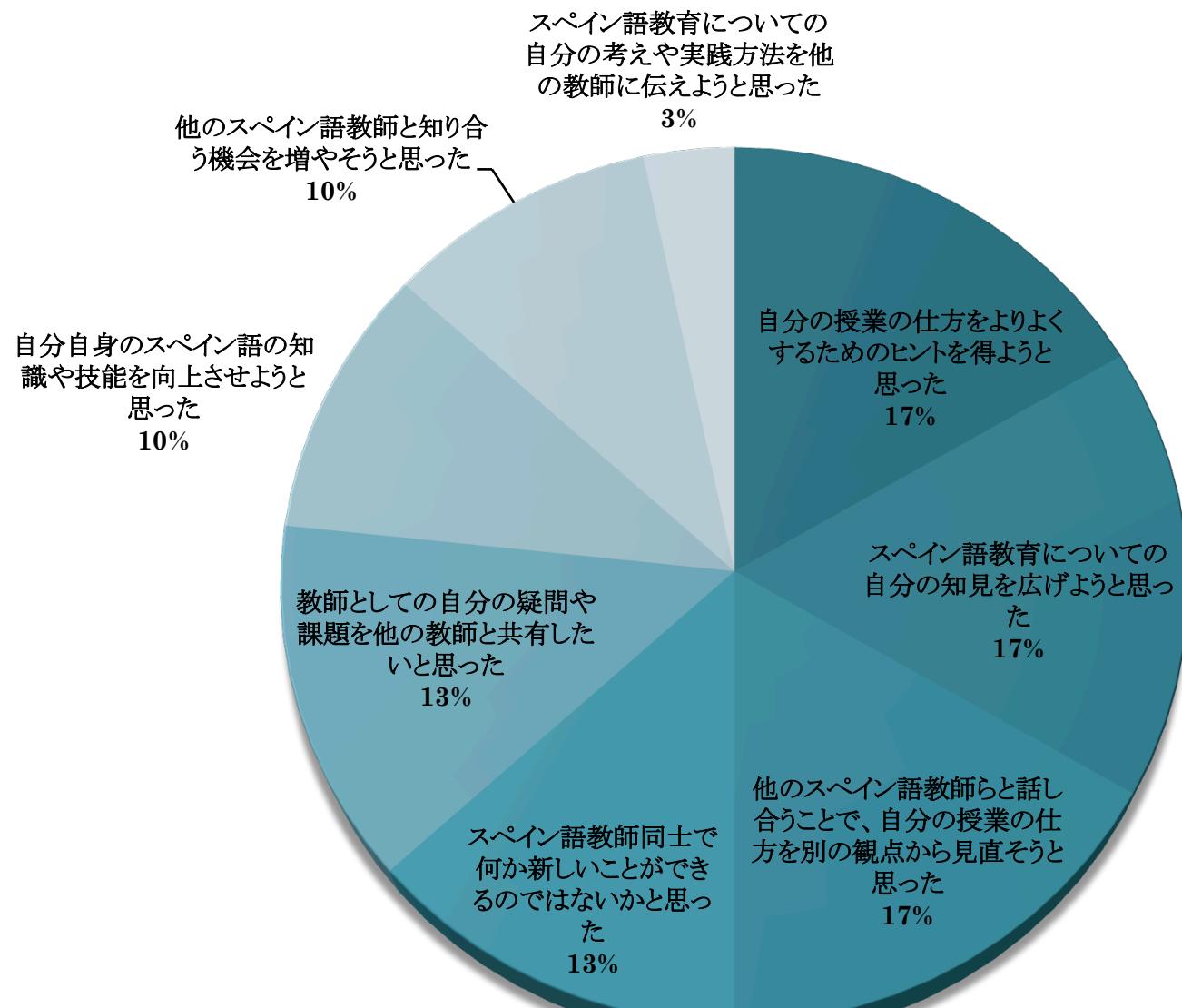
「時々出席している」メンバーの回答



「ほぼ毎回出席している。」メンバーの回答

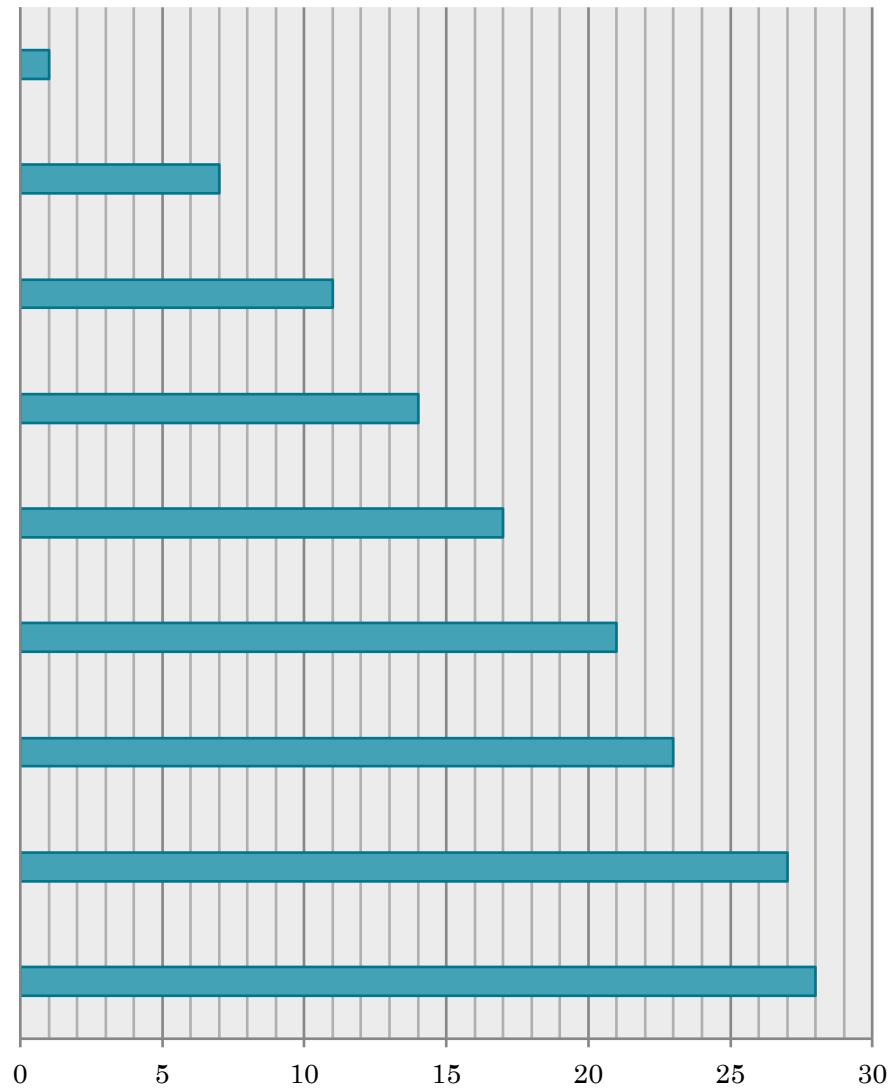


「ほぼ毎回出席している。」メンバーの回答



全回答

- プラスのこと、新しいことは何も望まないで、他の人がどんなことで悩んでいたりするのかを知りたくて。
- スペイン語教育についての自分の考え方や実践方法を他の教師に伝えようと思った
- スペイン語教師同士で何か新しいことができるのではないかと思った
- 自己自身のスペイン語の知識や技能を向上させようと思った
- 他のスペイン語教師と知り合う機会を増やそうと思った
- 教師としての自分の疑問や課題を他の教師と共有したいと思った
- 他のスペイン語教師らと話し合うことで、自分の授業の仕方を別の観点から見直そうと思った
- 自分の授業の仕方をよりよくするためのヒントを得ようと思った
- スペイン語教育についての自分の知見を広げようと思った



全回答

